

グルマーイの著書からの抜粋

神は純粋な心を愛する

すべての生き物はもともと利己的なものです。すべての人間もある程度は身勝手です。身勝手さは人類にとって第二の天性といってよいでしょう。ですから、現代社会は、人の時間とエネルギーをあらゆる束縛、すべての人や物から解放したことによって、人が生まれつき持っている慈悲に対する感受性からも切り離してしまっただけではないでしょうか。慈悲とは、とても単純でありながら、実に広範囲に影響を及ぼす徳です。

慈悲とはどのようなものかを実感できないと、なぜそれを切望すべきなのか理解できないでしょう。慈悲とは、誰かの無知や苦痛と出合った時、あなたの内側で呼び起こされる神聖な衝動です。誰かとは、肉体的に苦しんでいる人だけを言っているわけではありません。偉大な人物の慈悲について考えてみましょう。バーバ・ムクターナンダの慈悲の心はとても広大で力強く、人は彼に近づいただけで、自分自身の心の中に入ってしまった。

このような慈悲はあまりにも強く心をかきたてるため、その愛によって岩でさえ泣くと言われていきます。それは時々湧き上がっては収まるただの感情ではありません。あなたがバーバのようにゴールに到達すると、慈悲の体現者となります。ですから、あなたが行く所どこでも、すべての人があなたから助けを得ることができると分かります。あなたの存在を感じると、彼らは安心感や安全を感じます。それはあなたが一つか二つの偉大な行いをするということではありません。あなたの存在だけで十分なのです。なぜなら、あなたは思いやりの心、愛する心を持っているからです。

この至高なる慈悲はすべての人の中に存在します。それ故、すべての偉大な人物は、自分の心の王国に入りなさいと言うのです。あなた自身の心の光を浴びなさい。あなた自身の心の泉から湧き上がる慈悲のネクターを飲みなさい。慈悲を他の場所や他人に探し求めてはいけません。それはあなたの内側にあります。あなたはこの偉大な徳の持ち主なのです。



© 2022 SYDA Foundation®. 著作権所有。

グルマーイ・チッドヴィラーサーナンダ著『神は純粋な心を愛する』第7章「慈悲」(SYDA Foundation 2005) 86~87 ページ